

# 病院での麻疹発生時の対応について

地方独立行政法人  
桑名市総合医療センター

伊藤 和恵

## 1例目発生後の対応

- 接触者リストの作成  
空間を共有した人
- 職員の麻疹抗体価の確認
- 緊急ワクチン接種の実施
- 接触者が発熱時の受診調整と診察対応
- 臨時 院内感染対策委員会の開催
- 病院ホームページでの情報発信と連日の更新
- 保健所・国立感染症研究所との連携

# 外来患者への対応

---

## ■ 接触者の範囲

1/17（木）の受診患者のうち、“11時までに会計を終えた患者”と“15時以降に受付をした患者”を除いた全員

## ■ 対象患者への電話連絡

毎日の健康観察と発熱時の受診について説明  
健康観察期間終了の2月7日（木）まで実施  
対象592人（521人連絡済、71人連絡付かず）



## ■ 連絡初日、相談やコールバックで交換がパンクした

⇒ 翌日から体制を整えた

# 入院患者への対応

---

## ■ 接触者の範囲

対象期間に8階フロアで入院していた患者

## ■ 接触患者への説明

説明文書を作成  
毎日の健康観察の実施

## ■ 抗体価検査とMRワクチン接種

## ■ 退院した患者への連絡（主治医）

## ■ 転院先への連絡（地域連携室）

# 職員への対応

---

- 接触者の範囲  
外来棟および8階フロアで業務を行った職員
- 緊急ワクチン接種  
院内の3次感染の予防として  
麻疹抗体価 4.0～16.0未満の全職員  
発生病棟の関係職員と救急室から順に接種
- 麻疹発生と対応の周知  
院内メール等
- 就業制限と入院制限の実施は見送り

# 業務委託職員への対応

---

- 接触者の範囲  
事務（医事課）、清掃、リネン、SPD、給食、設備、売店
- 抗体価検査とMRワクチン接種  
50歳以下…ワクチン接種  
51歳以上…抗体価を測定し、16.0未満はワクチン接種
- 終息後、業務委託業者の仕様書に、ワクチン接種の項目を追加

# 接触者の受診対応

- 新型インフルエンザ等の受入れと同対応  
救急外来（処置室）で診察  
駐車場から直接処置室に入る経路
- 発熱時の相談窓口  
（昼）感染対策室  
（休日・夜間）救急室
- ICTメンバーと救急室スタッフで対応

## 2例目発生後の対応

### ■ 接触者の範囲と対応

患者	1/29夜勤時に入院していた患者	1例目と同対応
職員	1/29～30に関わった職員	健康観察期間の延長

### ■ 就業制限

1例目を直接担当した抗体価10.0未満の看護師2人  
接触した日から3週間後まで

### ■ 入院制限

### ■ 院内で開催する研修会等の自粛

### ■ 実習制限

## 抗体価検査とワクチン接種の実施数

	抗体価検査	MRワクチン
患者	72	16
委託職員	27	44
職員	4	341
<b>合計</b>	<b>103</b>	<b>401</b>

## 健康観察者数

患者（入院・外来）	739人
職員（委託含む）	325人
<b>合計</b>	<b>1064人</b>

## まとめ

- 平時の対策と発生時の準備
  - 新型インフルエンザ等対策実働訓練が活かされた
  - 麻疹を知らない職員が多い
  - ワクチン接種の見直し
- 新たな患者の早期発見と確実な封じ込め対策
  - 3次感染予防を考える
  - 人員と時間の確保
- 職員への周知の難しさ